

第34回 通常総会総会議事録

全日本プラスチックリサイクル工業会

東京都墨田区東駒形2-18-12

TEL 03-3625-5651

会長 大塚 一郎

開催日 平成22年6月15日(火) 午後2時～3時  
開催場所 東京都墨田区錦糸1-2-2 東武ホテル レパント東京  
出席者数 定数49名 本人出席31名、委任状出席14名

概要

総合司会;石塚常任理事の進行により本城副会長が開会の辞を述べ、大塚会長の挨拶の後、中山常任理事による総会成立宣言があった。

浅野副会長を議長に選出し議案審議に入った。

議長は井上専務理事に第一号議案から第三号議案の説明を求め、また藤井監事に会計監査の報告を求めた。

説明、報告後各議案ごとに議場に諮り原案通り承認された。

議案審議が終了し議長降壇後活動報告と活動計画について以下の2点について説明が行われた。

報告事項

エコキャップ活動状況

キャップの回収状況7%、回収量 t

エコキャップ推進協議会の扱い量の大半を当工業会で

PCRの活動状況

委員会の立ち上げ、合同委員会

名称;JPRA政策委員会

今年度活動目標

今後の活動計画;認定を取得する

PCRの活用のPR、アドバイス

エコキャップの扱い統計を作成

最後に今年度リサイクル推進協議会表彰についての報告が行われた。

今年度受賞推薦者

愛知県プラスチックリサイクル協同組合

フイジイ化工(株) 代表取締役藤井達雄氏に決定した。

最後に磯野相談役による万歳三唱の後、中村副会長による閉会の辞ですべてを終了した。

## 第34回 通常総会資料

平成22年6月15日(火)

東京都墨田区錦糸1-2-2

東武ホテル レパント東京

TEL 03-5611-5511(代表)

自平成21年5月 1日

至平成22年4月30日

全日本プラスチックリサイクル工業会

東京都墨田区東駒形 2-18-12

TEL 03-3625-5651

## 総 会 次 第

### 1. 開会宣言

本城副会長

### 2. 会長挨拶

大塚会長

### 3. 総会成立宣言

中山常任理事

### 4. 議長選出

議長;浅野副会長

### 5. 議事

1)第1号議案 平成21年度事業報告及び決算関係書類承認の件  
(監査報告)

2)第2号議案 平成22年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件

3)第3号議案 経費の賦課金徴収方法決定の件

### 6. 議長挨拶降壇

### 7. 万歳三唱

磯野相談役

### 8. 閉会のことば

中村副会長

## 懇親パーティー

### 1. 会長挨拶

### 2. 来賓祝辞

プラスチック処理促進協会 井田専務理事

衆議院議員 木村

### 3. 乾 杯

### 4. 中 ㄨ

## 第1号議案

平成21年度 事業報告書

自 平成21年5月1日 至 平成22年4月30日

### 1. 概況

一昨年9月のリーマンショックから立ち直りを見せていた世界経済も5月EU諸国の財政悪化が顕在化したことにより、世界中が懸念を持ちながら設備投資等成長戦略を策定しなければならない状態に追い込まれています。しかしながら中国、インド等新興経済国は順調に発展し今や中国はGDP世界2位、貿易黒字は世界1位に躍り出ました。

我が国日本は今やこれらの新興経済国とどのように関わり合うかが国としても、企業としてもその成長戦略に重要なファクターとして取り入れざるを得ない状況です。

その一方環境型社会へのシフトは鳩山首相の国連演説の通り2020年までに日本はCO<sub>2</sub>発生量の25%削減を宣言、オバマ大統領のグリーンニューディール政策等大きな変換点を迎える兆しがあります。

このような状況において今後の経済的発展は一国の一人勝ちは徐々に難しくなってくると思われます。日本の発展も従来の生産主導ではなく環境先進技術、3Rの確立と実行等、世界をリードできる施策の確立が最重要課題になると思われます。

私たち工業会においてはこのような世界環境の変化はいよいよ来たるべき時代の到来とし捕らえて良いのではないのでしょうか。対中国との関係を構築している会員、再生技術でプラスチック原料の3R化等協力し、情報交換を密に行うことにより次の世代では社会をリードする一団に属することができるよう活性化することが現在の会員に課せられた使命と思われます。現在の景気は決して良くはありませんが一致団結し次の社会を迎えられるよう努力してゆくことが重要であると思われます。

### 2. 会員の移動

会員	区分	21年4月	22年4月	増減	摘要
	関東プラスチックリサイクル協同組合	49	50	+1	
	日本合成樹脂有効利用組合	5	5	0	
	東日本プラスチック再生協同組合	37	35	-2	
	愛知県プラスチックリサイクル協同組合	36	36	0	
	北陸合成樹脂商工会	5	5	0	
	京滋プラスチックリサイクル工業会	11	10	-1	
	関西プラスチックリサイクル商工会	14	14	0	
	九州プラスチックリサイクル工業会	6	6	0	
	個人会員	6	6	0	
	合計	169	167	-2	

### 3. 会議開催状況

#### (1) 総会

- イ. 開催日時 平成21年6月16日(火)
- ロ. 開催場所 東京第一ホテル 錦(名古屋)
- ハ. 出席者数 31名 (本人出席26名 (委任状5名)) / 総数47名(愛知県含む)

#### 二. 議事の経過及び議決の結果

平成19年度事業報告及び決算を承認したあと、平成20年度事業計画及び予算案を議決した。そして、経費の賦課金徴収方法の件、全議案を審議終了した。

#### (2) 第1回常任理事会

- イ. 開催日時 平成21年6月16日(火)
- ロ. 開催場所 東京第一ホテル 錦(名古屋)
- ハ. 出席者数 20名 (本人出席20名) + 事務局2名

#### 二. 協議事項

1. 通常総第33回会及び懇親パーティーの役割分担について
2. 平成20年度決算報告、平成21年度予算案の審議について
3. 市況分析
4. その他

#### (3) 第2回常任理事会

- イ. 開催日時 平成22年3月16日(火)
- ロ. 開催場所 東武ホテル レパント東京
- ハ. 出席者数 20名 + 事務局1名

#### 二. 協議事項

1. 通常総第34回会及び懇親パーティーの役割分担について
2. 平成21年度決算報告、平成22年度予算案の審議について
3. (株)近江物産様によるPCR申請への対応について  
PCR取得について日本有効利用組合と連携して取得活動を行う  
PCR取得委員会を立ち上げる  
委員候補として次の人選を決定した。  
【関東】石塚 進藤 井上 福本【東日本】中村 中山  
【愛知】浅野、藤井、名古屋路、杉浦【関西】本城、二井  
【九州】小池 藤井【京滋】田中 石田 小島【北陸】武田 高田
4. 市況分析
5. その他  
エコマーク偽装について(進藤相談役)  
リサイクル推進協議会表彰について

# 会計監査報告書

平成21年度決算について厳正に監査した結果、別紙収支決算の通り間違いない事を報告致します。

平成22年6月4日

全日本プラスチックリサイクル工業会

監事 藤井達雄

監事 二井真

自 平成22年5月 1日

至 平成23年4月30日

## 1. 基本方針

2009年経済産業省においてカーボンフットプリント(CFP)制度の試行を開始しました。カーボンフットプリントが提唱されたことで、欧米を中心に、個人がそれぞれ生活の中で排出している温室効果ガスについて、生活のどの部分でどれだけのガスがどのように出されているかということ把握し、できる所から温室効果ガスの排出量を減らしていこうという活動が活発化した。やがて、これを企業に当てはめて商品に表示する試みがCFP制度です。カーボンフットプリントの算出には、ライフサイクルアセスメント(LCA)の手法が用いられるのが一般的である。ライフサイクルアセスメントで企業活動のどの部門でどれくらいの温室効果ガスが排出されているのかを知るという目的は個人・家庭でのカーボンフットプリントと同じである。企業は社会的責任(CSR)を果たす、排出量を開示することで他社・多製品/サービスとの競争力をつけるといった別の意味合いもあり開示に向け積極的に活動を開始している。リサイクル・リユース(再使用)・リダクション(減量)という3Rが製品の排出量低減にカウントされるよう組合活動をより活性化し、又社会的認知度の向上を図りながら、社会の発展に貢献していきたいと思えます。

## 2. 事業計画

### (1)組織の拡大強化

組織の強化に努め、工業会の活性化を図る。

### (2)広報宣伝活動

業界紙に広告を掲載する。

ホームページを活用する。

### (3)教育情報・調査研究活動

#### ①組織の拡大強化

組織の強化に努め、工業会の活性を図る。

#### ②業界懇親会開催

業界の現況、今後の見通し及び当面する諸問題(特に環境・リサイクル関連)について情報交換を行い、検討・協議するため懇親会を開催する。

#### ③関係団体等開催の講習会への参加

### (4)関係官庁・団体との連絡

経済産業省化学課

日本プラスチック工業連盟

(社)プラスチック処理促進協会

日本プラスチック有効利用組合

中国国家質量検験検疫総局

第3号議案 経費の賦課金徴収方法決定の件(案)

※定款第12条

- ・本会は、その行う事業の費用(使用料又は、手数料をもって充てるべきものを除く)に充てるための会員に経費を賦課することができる。
- ・前項の経費の額、その徴収の時期及び方法その他必要な事項は、総会において定める。

※会費 金5,000円/一社 ※時期-総会后3ヶ月以内

※方法は振込手数料を差し引かない。個人会員は除き各団体単位。

※ リサイクル推進協議会の表彰について

ブロックによって会員数が異なるため、公平性という立場から五つのグループに再編し、そのグループ中で協議してもらい推薦する。

年度	グループ	各ブロック名(会員数・・・多少増減はあります)
H20年度	A	関東プラスチック(49社)
H21年度	B	東日本プラスチック(37社). 日本有効(5社)
H22年度	C	愛知県プラスチック(36社)
H23年度	D	北陸合成(5社). 九州プラスチック(6社). 個人会員(6社)
H24年度	E	関西プラスチック(14社). 京滋プラスチック(11社)

計169社

グループの動き(A→B→C→D→E)

平成22年度は、愛知ブロックより選出となり次の方を推薦し、了承をいただいた。

フジイ化工株式会社 代表取締役 藤井達雄氏

TEL 0566-92-4100 FAX 0566-92-4594



# 平成22年度 収支予算

自 平成22年5月 1日

至 平成23年4月30日

## 全日本プラスチックリサイクル工業会

### 収入の部

(単位：円)

科 目	金 額	摘 要
賦課金	845,000	関東 49 245,000 日本有 5 25,000
参加費収入	80,000	東日本37 185,000 愛知 36 180,000
		九州 6 30,000 北陸 5 25,000
受取利息	1,000	関西 14 70,000 京滋 11 55,000
その他収入	0	会員名簿等 個人 6 30,000
前年度繰越金	2,478,337	※繰越金は、3/16理事会費用の見積額を含む。
合 計	3,404,337	

### 支出の部

科 目	金 額	摘 要
教育情報費	150,000	業界懇談会費用（講演・講師お礼等）
調査研究費	100,000	調査費
会議費	1,000,000	第34回通常総会会費・常任理事会
福利厚生費	30,000	慶弔費
通信費	2,000	郵便料
広告宣伝費	214,000	業界紙広告料 70・ホームページ年間管理料 144
事務用消耗品費	10,000	事務用品代
支払手数料	2,100	振込手数料 等
旅費交通費	100,000	交通費
雑費	100,000	その他諸経費
翌年度繰越金	1,696,237	
合 計	3,404,337	